

32:15 エシュルンは肥え太ったとき、足でけった。あなたはむさぼり食って、肥え太った。自分を造った神を捨て、自分の救いの岩を軽んじた。

32:16 彼らは異なる神々で、主のねたみを引き起こし、忌みきらうべきことで、主の怒りを燃えさせた。

32:17 神ではない悪霊どもに、彼らはいけにえをささげた。それらは彼らの知らなかった神々、近ごろ出てきた新しい神々、先祖が恐れもしなかつた神々だ。

32:18 あなたは自分を生んだ岩をおろそかにし、産みの苦しみをした神を忘れてしまった。

32:19 主は見て、彼らを退けられた。主の息子と娘たちへの怒りのために。

32:20 主は言われた。「わたしの顔を彼らに隠し、彼らの終わりがどうなるかを見よう。彼らは、ねじれた世代、真実のない子らであるから。

32:21 彼らは、神でないもので、わたしのねたみを引き起こし、彼らのむなしいもので、わたしの怒りを燃えさせた。わたしも、民ではないもので、彼らのねたみを引き起こし、愚かな国民で、彼らの怒りを燃えさせよう。

32:22 わたしの怒りで火は燃え上がり、よみの底にまで燃えて行く。地とその産物を焼き尽くし、山々の基まで焼き払おう。

32:23 わざわいを彼らの上に積み重ね、わたしの矢を彼らに向けて使い尽くそう。

32:24 飢えによる荒廃、災害による壊滅、激しい悪疫、野獣のきば、これらを、地をほう蛇の毒とともに、彼らに送ろう。

32:25 外では剣が人を殺し、内には恐れがあ

る。若い男も若い女も乳飲み子も、白髪の老人もともどもに。

32:26 わたしは彼らを粉々にし、人々から彼らの記憶を消してしまおうと考えたであろう。

32:27 もし、わたしが敵のののしりを気づかっていないのだったら。・・彼らの仇が誤解して、『われわれの手で勝ったのだ。これはみな主がしたのではない。』と言うといけない。」

32:28 まことに、彼らは思慮の欠けた国民、彼らのうちに、英知はない。

32:29 もしも、知恵があったなら、彼らはこれを悟ったろうに。自分の終わりもわきまえたろうに。

32:30 彼らの岩が、彼らを買わず、主が、彼らを渡さなかつたなら、どうして、ひとりが千人を追い、ふたりが万人を敗走させたろうか。

32:31 まことに、彼らの岩は、私たちの岩には及ばない。敵もこれを認めている。

32:32 ああ、彼らのぶどうの木は、ソドムのぶどうの木から、ゴモラのぶどう畑からのもの。彼らのぶどうは毒ぶどう、そのふさは苦みがある。

32:33 そのぶどう酒は蛇の毒、コブラの恐ろしい毒である。

32:34 「これはわたしのもとにたくわえてあり、わたしの倉に閉じ込められているではないか。

32:35 復讐と報いとは、わたしのもの、それは、彼らの足がよろめくときのため。彼らのわざわいの日は近く、来るべきことが、すみやかに来るからだ。」

32:36 主は御民をかばい、主のしもべらをあ

われむ。彼らの力が去って行き、奴隷も、自由の者も、いなくなるのを見られるときに。

エシュルンとはイスラエルの呼称で、可愛い子どもを呼ぶようなニュアンスです。主はイスラエルをわが子のように成長に導いたのですが、実際は「肥え太」って親である神を「軽んじ」てしまったのです。私たちも神様から育てられた結果が、おごり高ぶりとなり、神様を軽んじないようにしましょう。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満ちしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？

